



デザインとイラストレーションのモダンズ

大正イマジュリーの世界



竹久夢二 / 『汝が碧き眼を開け』セノオ楽譜 / 1917

2010年11月30日(火)～2011年1月23日(日)

開館時間：午前10時～午後6時 (入館は午後5時30分まで) 金曜日は午後7時まで (入館は午後6時30分まで)

休館日：12月6日(月)、13日(月)、20日(月)、24日(金)、27日(月)、12月29日(水)～1月3日(月)、1月11日(火)、17日(月)
 入館料：一般300円(240円) 小中学生100円(80円)

主催：渋谷区立松濤美術館
 後援：大正イマジュリー学会
 協力：大正100年実行委員会
 企画・運営協力：株式会社キュレーターズ

* ()内は団体10名以上、60歳以上の方および障がい者(付添1名を含む)は無料 * 毎週土曜日は小中学生無料

※一部展示替えあり(予定)

渋谷区立松濤美術館
 THE SHOTO MUSEUM OF ART

東京都渋谷区松濤2-14-14 TEL 03-3465-9421
<http://www.city.shibuya.tokyo.jp/>
 JR 渋谷駅下車徒歩15分 京王井の頭線神泉駅下車徒歩5分

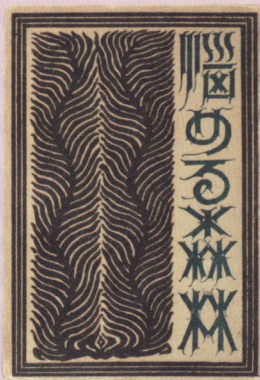
- 12月11日(土) ◆ 鼎談「大正一唄うイマジュリー、踊るイマジュリー」
 午後2時～ 谷口朋子(挿絵研究家)+芳賀直子(舞踊研究家)+辺見海(編集者)
- 12月12日(日) ◆ 「夢二、かいち、春佳を語る」ギャラリートーク
 午後2時～ 山田俊幸(帝塚山学院大学教授/企画監修)
- 1月9日(日) ◆ 「竹久夢二と大正・昭和初期の楽譜イマジュリー」ギャラリートーク
 午後2時～ 竹内貴久雄(音楽評論家・音楽文化史家)



杉浦非水 / 『三越』 / 表紙絵 / 1932



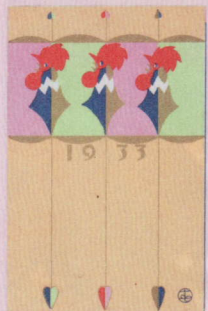
小林かいち / 『灰色のカーテン』 / 絵はがき



恩地孝四郎 / 『惱める森林』 / 装幀 / 1922



松野一夫 / 『新青年』 / 表紙絵 / 1927



高橋春佳 / 『歌の歌』 / デザイン画 / 1933



岸田劉生 / 『或る人々』 / 装幀 / 1920



小村雪岱 / 『春泥』 / 表紙絵 / 1937



武井武雄 / 『コドモノクニ』 / 挿画 / 1925



作者不詳 / 『ラケル・メレエのカルメン』 / 新宿武蔵野館



岡本帰一 / 『コドモノクニ』 / 挿画



古賀春江 / 『セレクト』 / 表紙絵 / 1930



作者不詳 / 『細君解放記』 / 装幀 / 1932

✦ イマジユリ“imagerie”とはイメージ図像を意味するフランス語ですが、装幀、挿絵、ポスター、絵はがき、広告、漫画など大衆的な複製としての印刷・版画の総称です。

本展ではポピュラー・カルチャーの旗手として大衆に浸透してゆく大正の新しいイマジユリに注目します。多彩で豊穡なデザインとイラストレーションの華を咲かせたこれらのイマジユリは、一人一人の眼に訴えかける親密性を持ちえており、いまなお清新な輝きををはなっています。

一世を風靡したアール・ヌーヴォー様式の橋口五葉とアール・デコに取り組んだ杉浦非水や小林かいち、あるいは大正を象徴する竹久夢二や高島青育にみられる少女趣味の抒情性や岡本帰一や加藤まさをの子供世界の愉しさ。また小村雪岱の洗練された江戸趣味や橘小夢や竹中英太郎らの怪奇幻想美を秘めた時代の雰囲気。そして都市文化におけるモダニズムは恩地孝四郎や古賀春江らを生み出し、プロレタリア美術は柳瀬正夢や村山知義らの前衛を目覚めさせます。やがては大衆の絶大な人気をあつめる演劇／映画、音楽、ファッションなどつながり商業美術に裾野を広げてゆきます。

この時代をおおうエラン・ヴィタル（生命の飛躍）の感覚は大きなうねりとなり、同時に耽美、抒情、前衛といった要素が時代をより魅力的なものにしてゆきます。一方では、関東大震災やプロレタリア運動、都市風俗や商業広告の拡大といった社会状況をものみこんでゆき、イマジユリは爆発的な力をみせ、それゆえ先鋭化した表現がうまれました。網膜の奥深くに記憶される象徴的な図像として、それらはなによりも、人々の憧憬のすがたであり欲望のかたちであったといえるでしょう。

✦ 独自の発想で人気を博した、あるいは奇想幻想の知られざる、画家、版画家、挿絵画家、工芸家たちによる、装幀、挿絵、デザイン画、広告、ポスター、絵はがき、版画などの作品約300点を展示します。

✦ 鼎談「大正一唄うイマジユリ、踊るイマジユリ」
谷口朋子（挿絵研究家）+ 芳賀直子（舞踊研究家）+ 辺見海（編集者）
12月11日（土）午後2時～

✦ 「夢二、かいち、春佳を語る」ギャラリートーク
山田俊幸（帝塚山学院大学教授／企画監修）
12月12日（日）午後2時～

✦ 「竹久夢二と大正・昭和初期の楽譜イマジユリ」
ギャラリートーク
竹内貴久雄（音楽評論家・音楽文化史家）
1月9日（日）午後2時～

✦ 担当学芸員によるギャラリートーク
12月17日（金）、1月14日（金）午後2時～

✦ 美術映画会
1月15日（土）午後2時～ 「東大寺Ⅰ」「伴大納言絵巻」
1月22日（土）午後2時～ 「東大寺Ⅱ」「源氏物語絵巻」

✦ 美術相談
12月4日（土）午後2時～4時
講師：林美紀子（木版画家）

✦ 渋谷区立松濤美術館
東京都渋谷区松濤2-14-14
TEL.03-3465-9421
<http://www.city.shibuya.tokyo.jp/>

